

# 授業改善推進プラン

## 【 1年 】

平成30年度 小平市立小平第四小学校

	学習状況の実態及び課題	具体的な改善策(いつまでに、どの程度)	追加・修正
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひらがなの読み書きは、概ね定着してきている。長音、拗音、促音、撥音の表記や助詞を正確に書くことには課題が残る。</li> <li>・音読に意欲的に取り組む児童が多い。語のまとまりを捉えて読むことや想像を広げて読むことが今後の課題である。</li> <li>・全体で一斉に話を聞くことに慣れてきたが、まだ十分でない児童もいる。</li> <li>・多くの児童が、友達の前で自分のことを大きく、ゆっくり、はっきりとした声で話せるようになってきた。一方で、まだまだ全体の前で話すことが苦手な児童もいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎場面の様子や時間、事柄の順序をおさえながら想像を広げて読めるよう、対話活動を取り入れた学習活動を展開する。</li> <li>・文字表記については、年間を通して繰り返し指導していくとともに、文章を書く指導を多く取り入れ、書く技能を高められるようにする。</li> <li>・正しく相手の話を聞くことができるよう、「聞き方のきまり」の掲示物を活用するなど、学習規律を定着させる。</li> <li>・ペアやグループでの対話的な活動を取り入れ、相手に自分の考えを伝えることができるよう指導する。</li> </ul>	
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・加法や減法の計算に意欲的に取り組む児童が多い。</li> <li>・10より小さい数の合成・分解がまだ定着していない児童もいる。</li> <li>・文章から課題の場面を正確に理解し、立式することができない児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎具体物や半具体物を操作しながら説明したり、考えを伝え合ったり、友達の考えと比べたりする。</li> <li>・具体物、半具体物を用いた活動を通して自分の考えをもてるようにする。</li> <li>・図形に対する理解を深めるために、作業的・体験的な活動を繰り返す。</li> <li>・問題場面を、絵図で表すなどして、課題理解を深める。</li> <li>・ペアやグループで考えを伝え合う時間を取り入れ、自分の考えを他者に伝えられるよう指導していく。</li> <li>・学習した内容を確実に習得するために、補習日に反復練習(東京ベーシック・ドリル)を行う。</li> </ul>	
生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な人や自然に興味をもち関わることはできるようになってきた。</li> <li>・遊びや生活の中で自然の良さを生かして工夫することはまだ十分ではない。</li> <li>・学習したことを絵や文章で表わすことを好む児童もいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎気付いたことや考えたことを伝え合う等、対話を多く取り入れる。</li> <li>・児童がそれぞれ自分の思いや願いをもって進んで自然、人、物に関わらせる。その中で、気付いたことや考えたことを伝え合う活動に取り組むことで、よりよい遊びや生活を実現できるようにする。</li> <li>・地域の人材を生かし、身近な人や自然のよさを十分に味わうことができるようにする。</li> </ul>	
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌を歌うことが好きで、楽しんで歌っているが、一部の児童に意欲の面で個人差がある。</li> <li>・歌詞や曲の感じから、気持ちや様子を想像して歌ったり演奏したりすることは、数人やろうとしている様子が見られるが、多くの児童はまだできていない。</li> <li>・鍵盤ハーモニカの学習には意欲的に取り組んでいるが、経験の差から技能にばらつきがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎歌詞や曲想から、どのように歌ったり演奏したりすると良いのか、友達と対話をしながら考える活動を取り入れていく。</li> <li>・音楽やリズムに合わせて体を動かすなどの身体表現を取り入れ、様々なリズムやテンポの楽曲に親しませることで、表現の楽しさを味わえるようにする。</li> <li>・常時活動を通して、身体表現や歌い方など継続的に身に付けさせる。</li> </ul>	
図工	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経験や手先の器用さでの個人差はあるが、楽しみながら作品作りをしている。</li> <li>・作品の鑑賞では、作品のよいところに気付いてもなかなか自分の作品に生かすことはできない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎友達の作品を鑑賞する時間をとり、カードや友達との対話をとおして工夫しているところやよいところに気付かせる活動を取り入れ、指導していく。</li> <li>・児童の興味関心を大切に、表現することの楽しさを感じられる題材を設定する。</li> <li>・学習用具の正しい使い方が定着するまで、使い方の確認をする。また、活動の場面で正しく使っているかを確認し指導する。特に絵の具の使い方の基礎基本の習得に力を入れていく。</li> </ul>	
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体を動かすことが好きな児童が多く、学習に意欲的である。</li> <li>・運動技能に差があり、苦手な運動への抵抗感が強く積極的に取り組めない児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎場や簡単な規則、遊び方・攻め方などを工夫しながら、運動を楽しむ経験をさせる。</li> <li>・全身運動を思い切り行う時間を確保し、きまりを守って仲良く運動ができるようにする。</li> <li>・短く具体的な指示を与え、スモールステップで技能の習得が図れるようにする。</li> <li>・グループでの活動や簡単な課題解決活動を取り入れ、対話を通して学びを深めていく。</li> <li>・学習カードを活用し、友達の良かったところを見つけたり、自己の伸びを実感したりできるようにする。</li> </ul>	
特活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・係の仕事や給食・掃除などの当番活動には、進んで取り組んでいるが、なかなか仕事のやり方を覚えられない児童もいる。</li> <li>・自分の思いを伝えることはできるが、友達の意見を聞き入れたり、周りに合わせて行動する力がついていない児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎よりよい生活を築くために、話し合いや意見交換などの対話を大切にする。</li> <li>・掲示物を分かりやすくしたり、見直しをもって取り組めるように声掛けを工夫したりして、自信を持って活動できるようにする。</li> <li>・集団として、学年目標や学級目標を設定し、それを達成するための活動を取り入れる。また、振り返りの機会を設け、次の活動に生かすようにする。</li> </ul>	
道徳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・よりよい学校生活を送るための方法を考え、そのよさを学習した。</li> <li>・友達を気遣ったり、励ましたりできる児童が多い。</li> <li>・資料を元に、自分の考えをもつことはできるが、自分のこととして考えたり、日常生活で実践していく意識はまだ薄い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎A主として自分自身に関することを重点にする。</li> <li>・基本的な生活習慣を身に付けることの良さを引き続き味わわせる。</li> <li>・児童の実態に応じた教材を活用し、対話を通して考えを交流させる。</li> <li>・相手の気持ちを考え、よいと思うことを進んで行う態度を認めていく。</li> <li>・自分自身に立ち返り、今後の生活につながる活動を取り入れる。</li> </ul>	

# 授業改善推進プラン

## 【 2年 】

平成30年度 小平市立小平第四小学校

	学習状況の実態及び課題	具体的な改善策(いつまでに、どの程度)	追加・修正
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察文や型の決まっている文章はスムーズに書ける児童が増えてきた。思いや考えを文章に書くことに課題が見られる。</li> <li>・順序立てて話したり、大事なことを落とさずに聞いたりすることに課題が見られる。</li> <li>・促音や助詞「は・を・へ」の使い方に課題が見られる。</li> <li>・漢字練習は意欲的に取り組んでいるが、文章の中で適切に使うことが十分でない児童がいる。また、画数が多く難しい文字は、習得に苦労している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎順序を意識して話す力、大事なことを落とさずに聞く力を育てるために、対話活動を意図的に取り入れる。</li> <li>・「はじめに」や「つぎに」といった言葉に注目させることで、順序を意識させて文章を読めるようにするとともに、話すときに活用できるように指導する。</li> <li>・「聞き方のきまり」を徹底し、ペア学習等で話のポイントをつかむ経験を積ませていく。</li> <li>・家庭学習に作文を取り入れ、促音や助詞の使い方を繰り返し指導し、定着を図る。</li> <li>・文字練習の時間を確保し、字形や書き順に気を付けて学習に取り組みせたり、ミニテスト等を活用し定着度を図ったりする。</li> </ul>	
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・繰り上がり、繰り下がりの計算方法は理解したが、たしざんひきざんを混同したり、途中の過程を抜かしたりなど、つまづきが見られる。また、繰り上がり、繰り下がりのある筆算の仕方がまだ完全に定着していない児童が見られる。</li> <li>・時刻を読み取ることは定着しているが、時間の計算が苦手な児童が多い。</li> <li>・文章問題では、内容の読み取りに課題が見られる児童もいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎問題文のなかで、わかっていることは何か、たずねていること(答えを出すこと)は何かを確認し、式を立てたり、答えを書いたりすることを繰り返し指導していく。また、絵図を使って自分の考えを他者に伝えられるよう指導する。</li> <li>・1年の学習内容にさかのぼって計算練習を行ったり、計算の仕方を順序立てて説明したりして、定着を図り、計算で間違えやすいポイントを学級全体で共有する。また、繰り上がり、繰り下がりのある筆算の計算練習(東京ベーシック・ドリル)を繰り返し行い、定着を図る。</li> <li>・生活の中で時刻と時間を考えるような場面を多く設定し、定着を図る。</li> </ul>	
生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分と身近な人々や自然との関わりを楽しんでいる児童が多い。</li> <li>・体験して気付いたことを絵や文章などで表現することを楽しんで行う児童が多い。</li> <li>・自分の考えや気付いたことを友達と交流したり考えを深めたりすることに課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎思考ツールの活用や対話により、児童の思いや願いを実現できるようにする。</li> <li>・絵や文章だけでなく、動作化や劇化などを友達と対話をしながら表現させることで対象への気付きを深められるようにする。</li> <li>・地域人材の活用や身近な人々、自然と関わる中で、自分のよさや成長を振り返らせる時間を設ける。</li> </ul>	
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌うことが好きで自信を持って楽しんで歌っているが、表現を工夫する段階まではいっていない。</li> <li>・鍵盤ハーモニカの学習は、意欲的に取り組んでいるが、技能については個人差がある。</li> <li>・鑑賞活動は、聴くことが好きで、意欲的に取り組んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎歌詞や曲想から、どのように歌ったり演奏したりすると良いのか、友達と対話をしながら考える活動を取り入れていく。</li> <li>・身体表現を取り入れるなどして、表現することの楽しさを味わえるようにする。</li> <li>・良い工夫をしている児童を紹介するなどして、どのような表現の工夫をするか考える活動を取り入れる。</li> <li>・鍵盤ハーモニカの指導は、楽曲を区切り少しずつ進むなどして、無理なく取り組めるようにする。</li> </ul>	
図工	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ほとんどの児童が楽しみながら作品作りに取り組めるが、何をしようか分からず、固まっている児童もいる。</li> <li>・鑑賞では、友達の作品のよさに気付くことはできるが、友達がどう工夫したかを考えるまでには至っていない。</li> <li>・作業時間の個人差が大きい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎友達の作品を鑑賞する時間を確保し、友達の作品の工夫を考えさせる活動を行う。鑑賞する時の具体的な視点を示し、自他の活動の工夫を対話によって気付かせるようにする。</li> <li>・児童の興味関心を大切に、動物や自然など身近なものから発想を促すような題材を設定するとともに、用具の使い方などの基礎基本の定着を図る。</li> <li>・作業の流れを明確にすることで活動に取り組ませやすくする。また、新しい題材に入った際は実物やICTを活用しこれから作るものへのイメージをもたせる。</li> </ul>	
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動をすることが好きな児童が多く、どの運動も意欲的に学習に取り組んでいる。</li> <li>・自分なりに工夫をして運動に取り組める児童が少ない。</li> <li>・安全面に気を付けて運動に取り組むことに課題がある児童がいる。</li> <li>・経験しておくべき体の動かし方(回転、跳躍等)を経験できていない児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎学習カードを活用し、自分のめあてを設定させて、学習に取り組ませる。振り返りでは友達との交流の時間を確保し、助言や賞賛を送ることができるようにする。</li> <li>・児童の学習意欲が高まるように、運動量の確保、場を工夫、かわり合いを重視する。また、友だちのよいところをまねさせ、よい動きを身に付けさせる。</li> <li>・授業の導入で安全確認を徹底する。</li> </ul>	
特活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給食や掃除、学級内の当番活動には積極的に取り組めるが、最後まで責任をもって行うことに課題が見られる児童がいる。</li> <li>・話し合い活動では、積極的に発言する児童が多い。しかし、友だちの意見を取り入れ、話を進めていく力にはまだ差がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎よりよい生活を築くために、話し合いや意見交換などの対話を大切にする。</li> <li>・月に一度、ワークシートなどを活用して、自分の活動について振り返らせ、良かった点や改善点を考えさせる。</li> <li>・話し合い活動の方法を体得させ、イベントなどを企画し実施することで、達成感を味わわせていく。</li> </ul>	
道徳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教材文を読み登場人物の気持ちを考え話し合う学習を通して、児童の考えの深まりを目指した。</li> <li>・友達を気遣ったり、励ましたりできる児童が多い。</li> <li>・友達のことを考えずに、自分本位の言動をとる児童が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎A主として自分自身に関すること、B主として人との関わりに関することを重点に指導する。</li> <li>・考えや思いの対話だけでなく、役割演技、ロールプレイなどを取り入れることで、自分のこと化して考えられるようにする。</li> <li>・自分自身のことを振り返らせ、今後どのような言動をとればよいかを考えさせる。</li> </ul>	

# 授業改善推進プラン

## 【 3年 】

平成30年度 小平市立小平第四小学校

	学習状況の実態及び課題	具体的な改善策(いつまでに、どの程度)	追加・修正
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>物語を読んで登場人物の気持ちを考えたり、詳しく観察して文を書いたりすることができる児童が多い。</li> <li>友だちの発言に対して、共感的に聞いたり、うなずいたりしながら聞く姿勢が育ってきている。</li> <li>順序立てて話したり、大事なことを落とさずに聞いたりすることに課題が見られる。</li> <li>句読点やカギ括弧の使い方に課題が見られる。</li> <li>漢字練習は意欲的に取り組んでいるが、画数が多く難しい文字は、習得に苦労している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎場面の様子や時間、事柄の順序をおさえながら想像を広げて読めるよう、対話活動を取り入れた学習活動を展開する。</li> <li>・文字表記については、年間を通して繰り返し指導していくとともに、文章を書く指導を多く取り入れ、書く技能を高められるようにする。</li> <li>・正しく相手の話を聞くことができるよう、「聞き方のきまり」の掲示物を活用するなど、学習規律を定着させる。</li> <li>・ペアやグループでの対話的な活動を取り入れ、相手に自分の考えを伝えることができるよう指導する。</li> </ul>	
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域における社会的事象への関心が高く、町探検などの探求的な活動に意欲的に取り組む児童が多い。</li> <li>・学習課題に対して、予想を立て、必要な情報を集める学習に慣れてきている。</li> <li>・地図記号や方位記号といった基礎的な知識は理解が進んできている。</li> <li>・社会的な思考や判断につながっていない児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎個人の予想や結果を全体で話し合い、考えを共有する対話活動を行う。習得した知識や技能を結びつけて考えることができるようにする。</li> <li>・具体的で児童にとって身近な場面から導入を行い、児童の関心を高める。</li> <li>・記号を学んで終わりにするのではなく、実際の活用場面で適用できる力を付けさせていく。</li> </ul>	
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既習事項を生かして、自分の考えをもつことができる児童が多い。</li> <li>・かけ算九九が定着していないなど、基本の計算技能でのつまずきが見られる。</li> <li>・文章問題では、場面をとらえるのが難しく、立式やをししたり、その根拠を示すのが難しい児童もいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎問題に対して、式や図を活用しながら、言葉での説明ができるように指導を繰り返し、自分の思考を表現できるよう指導する。</li> <li>・基礎的・基本的な内容の復習(東京ベーシックドリル)や前時の内容の復習を、授業の初めに行って学習のつながりを意識させる。また、算数教室に九九表を掲示し、振り返りがしやすいよう教室環境を整える。</li> <li>・普段の生活でも、学習した算数用語を使うようこし知識の定着を図る。</li> <li>・学年でノートの書き方を統一し、どの習熟コースに行っても、自分の考えをノートにまとめ、思考過程を整理できるようにしていく。</li> </ul>	
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動植物の飼育栽培に積極的に取り組む児童が多い。</li> <li>・学習を通して、身の回りの自然現象を科学的な概念へとつなげようとしてきている。しかし、自分が具体的に経験した事でない、同じ概念であっても、適用させて考えることは難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎実験や観察の際の視点を明示し、共通の視点をもって取り組めるようにする。視点が明確になることで、実際に経験していない事象に対しても、科学的な概念へとつなげて考えやすくする。</li> <li>・絵や図を用いて対話させることで、生活経験の少ないことについても理解を深められるようにする。また、ICTを活用することで、観察・実験の難しいものでも具体的なイメージをもたせやすくする。</li> </ul>	
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意欲的に学習に取り組む児童が多いが、学習規律が徹底できていない児童もいる。</li> <li>・新しく始まったリコーダーの学習に対して意欲的である。</li> <li>・歌詞の内容や旋律の流れ等からどのように歌ったり演奏したりすればよいか考えることのできる児童と難しい児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎歌詞や曲想から、どのように歌ったり演奏したりすると良いのか、友達と対話をしながら考える活動を取り入れていく。</li> <li>・体を動かす活動を通して、心が開放できる時間を多く設ける。</li> <li>・特にリコーダーの指導では、個別指導の時間を多く取るようにし、タンギングや運指などの技能を身に付けられるようにする。</li> <li>・常時活動を通して友達と気持ち良くコミュニケーションをとれる時間をつくり、互いに意見を伝え合える環境をつくる。</li> </ul>	
図工	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的に作品作りに対する意欲が高い。</li> <li>・技能に個人差があり、人数が多くスペースが狭いため安全面に配慮が必要である。</li> <li>・友達と創作したり、鑑賞したりすることに楽しんで取り組むことのできる児童が多いが、良さを言葉で表したり、伝え合うことになれていない児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎制作途中においても個々の豊かな発想を全体に広げるような声かけをし、互いの活動を見合い、対話する機会を設ける。</li> <li>・楽しく意欲的に取り組めるように、ICTなどを活用して視覚的に分かりやすい授業を工夫する。</li> <li>・刃物など危険を伴う道具を扱う時は、担任教諭と連携し、協力してサポートしていく。また、道具の置き方や道具を使っている人の近くを通る際の指導も重ねて行う。</li> <li>・鑑賞の時間に自他の作品のよさや美しさを言葉で表現し、対話することで言語活動の充実を図る。</li> </ul>	
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動をすることが好きな児童が多く、意欲的に学習に取り組んでいる。</li> <li>・課題に合わせて作戦を立てたり、動き方を工夫したりする力を伸ばす必要がある。</li> <li>・毎日の生活と健康の関わりについて、基礎的なことを理解できている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎タブレットで動画を撮ったり、体の動かし方のポイントが分かる学習カードを活用する。それにより、児童同士でアドバイスをしたり、運動や作戦の工夫をすることができるようにする。</li> <li>・感覚づくりの運動を重要視し、簡単な動きから複雑な動きへと段階を踏んで技能を習得させる。</li> <li>・学習カードを活用する。発問を工夫しめあてに迫る思考を促す。</li> </ul>	
総合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な地域を教材としていることで、意欲的に学習に参加できている児童が多い。</li> <li>・課題設定や課題追究といった、学習のプロセスに慣れていない児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎グループでの対話の時間を設定し、学び合うことにより、自分の考えを深める。</li> <li>・学習の見通しを明確にし、追究意欲を高められるようにする。</li> <li>・地域や地域の人とのかわり方を計画的に行い、学習への目的意識をもちやすくする。</li> </ul>	
特活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・係活動を意欲的にを行い、より良い活動になるように工夫して取り組むことができる。</li> <li>・当番活動については積極的に取り組んでいる。</li> <li>・話し合いで積極的に自分の考えを発言できない児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎よりよい生活を築くために、話し合いや意見交換などの対話を大切にする。</li> <li>・それぞれの係や当番での工夫を取り上げ称賛される機会を設け意欲的に取り組めるよう支援する。</li> <li>・話し合いの内容を明確にし、自分の意見をもてるようにする。自分の意見を出せたことを賞賛し、価値付けしていく。</li> </ul>	

道徳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料等を元に、自分の考えをまとめ、発表できる児童が多い。</li> <li>・周りに目を配り、まわりの様子や相手の気持ちを考えて行動できる児童が多い。</li> <li>・正しいと知りながらも実行できなかったり、悪いと思いつつも流されたりする場面がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎B主として人との関わりに関することを重点に指導する。</li> <li>・教材と身の回りの出来事を関連させて考えられるような導入をし、本時のキーワード意識して学習できるようにする。</li> <li>・道徳的に葛藤する場面を取り上げ対話する活動や、ロールプレイをする活動を取り入れることで、自分の考えを深めると共に、道徳的実践意欲と態度を育てる。</li> </ul>	
外国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チャンツや歌、ゲームなどを通して英語や世界のことに関心をもつ。</li> <li>・簡単な英語表現に慣れ親しむ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体を動かしながら楽しくリズムに乗って日本語と英語の音の違いに気付かせるようにする。</li> <li>・ゲームなど楽しい雰囲気でのコミュニケーションをとりながら、英語表現に慣れ親しませるようにする。</li> </ul>	

# 授業改善推進プラン

## 【 4年 】

平成30年度 小平市立小平第四小学校

	学習状況の実態及び課題	具体的な改善策(いつまでに、どの程度)	追加・修正
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章や言葉に関心を持ち、すすんで学習に取り組むことができる。</li> <li>筋道を立てて話したり、友達の話の中心に気を付けて聞いたりしている。</li> <li>相手や目的に応じ、段落の関係に注意した文章を書くことが苦手である。</li> <li>内容の中心をとらえ、段落のつながりを考えて文章を読むことが苦手である。</li> <li>言葉や文のきまりを理解しているが、文字を正しく書き、適切に使うことが難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎登場人物の気持ちを想像する場面などで、ペアやグループでの対話活動を多く取り入れる。</li> <li>・自分の考えと友達のことを比較し、共通点や差異点を意識させて発表を聞かせるようにする。</li> <li>・文型を与えて、書くことへの抵抗を少なくする。毎日の家庭学習で書くことに慣れさせる。</li> <li>・自分の思いや考えはどの叙述から感じたのかをノートに書かせるなどして叙述を意識させる。</li> <li>・家庭学習において、既習漢字を使った文作りに取り組む。</li> </ul>	
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域社会に関心を持ち、すすんで学習に取り組む児童が多い。</li> <li>・東京都の特色や、人々の工夫や努力について考えるが、表現することが苦手である。</li> <li>・課題に合わせて資料を集め、情報を読み取ることができるが、情報を整理することが苦手である。</li> <li>・東京都の人々の生活や土地の様子、先人の働きについて理解することができている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎学習課題を意識させ、ペア、グループ等での対話活動を取り入れながら、必要な情報を取捨選択できるように丁寧な指導を行う。</li> <li>・児童の興味・関心を高められるような資料(地図、年鑑等)を提示し、課題解決型の学習を目指す。</li> <li>・グラフや表の項目や数値に注目させて特徴を考えさせたり、全体的な傾向を読み取ったりする活動を多く取り入れる。</li> <li>・フラッシュカード等を活用して、楽しみながら知識の定着を図る。</li> </ul>	
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>数量や図形に関心を持ち、進んで学習に取り組んでいる。</li> <li>・学習したことをもとに、筋道を立てて考えることが弱い。</li> <li>・計算や測定はできるが、作図が丁寧に正しくできる児童が少ない。</li> <li>・数量や図形、計算の仕方について、正しく理解する児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎自分の考えを絵図、式などを使って、工夫をしながらノートに思考過程を整理して書く習慣を付けさせる。</li> <li>・東京ベーシックドリルを使った定着度の把握やじっくり取り組むコースには毎回初めの数分を使って既習の内容の復習を行う。</li> <li>・計器を正しく使えるよう繰り返し根気強く指導をしていく。</li> <li>・学年でノートの書き方を統一し、どの習熟コースに行っても、自分の考えをノートにまとめ、思考過程を整理できるようにしていく。</li> </ul>	
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然の事柄に関心を持ち、すすんで学習に取り組む児童が多い。</li> <li>・自然の様子や変化について考えられるが、表現する力が乏しい。</li> <li>・課題に合わせて、予想はできるが、適切に実験・観察を行うことが難しい。</li> <li>・自然のしくみやはたらきを理解している児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎観察や実験の結果や考察を、文章だけでなく絵や図を用いて対話させることで、苦手の児童にも取り組みやすいようにする。</li> <li>・児童がもった疑問や気付きを学習課題とすることで、目的意識をもって取り組ませる。</li> <li>・ペアやグループ等で自分の考えを交流させることにより、よりよい発言に触れさせることで、根拠ある予想や仮説を立てられるようにしていく。</li> </ul>	
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意欲的に学習に取り組む児童が多いが、支援が必要な児童もいる。</li> <li>・リコーダーの学習には意欲的であるが、タンギング、運指の定着については一部の児童に個人差がある。</li> <li>・鑑賞の活動では、楽曲から曲想を感じ取ったり、感じ取ったことを言葉にすることが難しい児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎楽曲について友達と考えを交流したり、グループで相談して音楽をつくる機会を設け、対話的な学びを通して自分の考えを持ち、歌詞や曲想に合った表現や音楽をつくる過程を工夫しようとする態度を育てていく。</li> <li>・体を動かす活動を通して、心が開放できる時間を多く設ける。</li> <li>・歌声が響き合う良さ、音が重なる良さ、みんなの息が合う良さなどを感じながら演奏できるように、経験を増やしていく。</li> <li>・鑑賞では、感じたことを言葉にすることができるように、感じ取ったことを全体で共有したり、ペアで交流したりする機会を増やす。</li> </ul>	
図工	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的に作品作りへの意欲は高い。</li> <li>・技能に個人差があり、安全面で配慮が必要な児童もいる。</li> <li>・友達と創作したり、鑑賞したりすることに楽しんで取り組むことができる児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎鑑賞の時間に自他の作品のよさや美しさを言葉で表現し、対話することで言語活動の充実を図る。</li> <li>・ICTを活用しどのような発想も否定せず受け止めることでさらに発想する力や意欲を高めていく。</li> <li>・技能面では個人差があるので、必要に応じて個別指導を行う。道具をどう使うと危険になるのか周知し、学級全体で意識を高める。</li> <li>・制作途中においても個々の豊かな発想を全体に広げるような声かけをし、お互いの活動を見合う機会を設ける。</li> </ul>	
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すすんで学習に取り組むが、安全に気を付けていない児童が数名いる。</li> <li>・運動に応じためあてをもち、活動の仕方を考え、工夫して運動しようとする児童が増えている。</li> <li>・運動の仕方を身に付けているが、技能を身に付けることが難しい児童がいる。</li> <li>・体の発育や発達について、基礎的なことを理解できている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎学習カードを活用し、自分のめあてや作戦を具体的に考えさせて活動に取り組ませる。また、めあてや運動の中で見つけたコツを伝え合い、運動の工夫ができるようにする。</li> <li>・運動の手順や留意事項を導入段階で明確にしてから活動する。</li> <li>・絵や図を活用して、技やポイントとなる資料を提示する。</li> </ul>	
総合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ほとんどの児童が、地域の方と関わりながら活動をすることに楽しさを感じている。</li> <li>・調べた事象について、自分の生活や生き方と関連付けて、考えることやまとめることが難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎グループでの対話の時間を設定し、交流することにより、自分の考えを深めさせる。</li> <li>・地域の方にどのように関わってもらおうかをより明確にし、協働的な学習になるようにする。</li> <li>・調べ方、まとめ方が広がる手立てを工夫する。</li> </ul>	

特活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当番活動に意欲的に取り組む児童が多い。しかし、係活動など形式的であり、創造的な活動に取り組む児童は少ない。</li> <li>・学級での話し合いでは、積極的に発言する児童が多い一方で、論点がずれてしまう場面が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ワークシートなどで自身の当番や係活動について対話を通して、良かった点や直したい点などを振り返らせるようにする。</li> <li>・企画を立案し、クラスのルールやお楽しみ会などの企画についての話し合いの途中で話題を再確認したり、意見をまとめるなどして話し合いが円滑に進むようにする。</li> </ul>	
道徳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達に対して親切な声掛けや行動ができる児童が多い。</li> <li>・相手の気持ちを察して言動することに課題が見られる場面がある。</li> <li>・課題に対して、自分の考えをもち、友達の考えとの相違に気づき、受け入れることに課題のある児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎B主として人との関わりに関することを重点に指導する。</li> <li>・児童の実態や課題に応じた資料を活用し、ペア、グループ学習での対話により、多くの考えに触れ、他者理解を深める。</li> <li>・様々な意見、解釈、ものの見方などを取り入れて、道徳的実践意欲と態度を育てる。</li> </ul>	
外国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チャンツや歌、ゲームなどを通して英語や世界のことに興味をもつ。</li> <li>・簡単な英語表現に慣れ親しむ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体を動かしながら楽しくリズムに乗って日本語と英語の音の違いに気付かせるようにする。</li> <li>・ゲームなど楽しい雰囲気でのコミュニケーションをとりながら、英語表現に慣れ親しませるようにする。</li> </ul>	

# 授業改善推進プラン

## 【 5年 】

平成30年度 小平市立小平第四小学校

	学習状況の実態及び課題	具体的な改善策(いつまでに、どの程度)	追加・修正
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習への関心は高いが、積極的に自分の考えを発表出来る児童は全体の3割程度に留まる。</li> <li>・相手の意図を捉えて聞く力が弱い。</li> <li>・文章全体の構成を考えて書くことに苦手意識のある児童が多い。</li> <li>・叙述に沿って読み取る力が育ってきているが、目的や意図に応じた内容を取り出し読み取る力が弱い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ペアやグループでの対話活動を多く取り入れ、発表することへ段階的に慣れることができるようにする。</li> <li>・相手の話の意図や目的を意識して聞く場面を増やすとともに、それに応じた自分の考えをもたせる。</li> <li>・順序や時系列のわかる言葉を意識して書かせたり、事実と自分の意見を区別して書かせたりといった指導を行う。</li> <li>・日常の国語学習や各教科の資料活用場面等において、目的を意識して必要な情報を見付けることを心がけるようにし、日常生活に役立てられるようにする。</li> </ul>	
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の国土に関心をもち、意欲的に学習に取り組む児童が多い。</li> <li>・課題に対して、調べたことをもとに自分の考えをもつ力が弱い。</li> <li>・グラフや表を読み取る力が育ってきているが、複数の資料を活用して、必要な資料を探したり、総合的に考えたりする力が弱い。</li> <li>・日本の都道府県や、身近な国々など基礎的な知識の定着に個人差がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎一単位時間の流れを固定し、調べ活動の際、予想したことと調べてわかったことの振り返りの時間を設定することで、課題解決型の学習の流れを定着させる。また、課題解決の際は、児童同士考えを交流したり、文献からの情報をどう読み取ったかについて交流するなど対話活動を展開させる。</li> <li>・課題解決の際に調べる目的や調べる視点を全体で確認し、適切な資料を選択する経験を積ませる。</li> <li>・毎時間の始めに知識の定着と学習への興味付けを図る時間を設ける。</li> </ul>	
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既習事項を生かして、自分の考えをもち、友達と交流することに意欲的に取り組む児童が多い。</li> <li>・筋道立てて解決していく力が十分ではない。</li> <li>・自分の考えを絵や図、式などを使って、ノートに思考過程を整理して書く習慣がついている児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎少人数で交流する場面や全体で交流する場面を設け、他者の考えを聞かなくて、自分の考えが深まるように指導する。</li> <li>・発展的な問題に対峙しても既習事項と照らし合わせながら、問題解決ができるように基礎・基本の徹底を図る。また、授業の初めに前時の復習や既習事項を復習する(東京ベーンク・ドリル)時間をとる。</li> <li>・図や数直線等を活用して説明する等、主体的な学習場面を展開させ、筋道立てて解決していけるようにする。</li> <li>・学年でノートの書き方を統一し、どの習熟コースに行っても、自分の考えをノートにまとめ、思考過程を整理できるようにしていく。</li> </ul>	
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的や手順を把握しないまま活動する児童がいる。</li> <li>・実験や観察の結果から、考えを導く力が伸びてきている。</li> <li>・実験や観察を通して学習したことが知識として十分に定着していない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎児童がもった疑問や気付きを学習課題とすることや、実験方法を自らで考え妥当かどうかを対話させることを通じて、目的意識をもって学習に取り組むことができるようにする。</li> <li>・得た知識を使って日常生活の科学的現象を自分の言葉で表現することで、有用性をもたせ理解を深められるようにしていく。</li> </ul>	
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の取り組み方について一部の児童に個人差があるが、知識・技能ともに学年相応の力が付きつつある。</li> <li>・歌唱の学習ではきれいな歌声で歌おうと意識している児童が多く、二部合唱にも意欲的に取り組んでいる。</li> <li>・グループ学習には意欲的に取り組んでいる児童が多いが、自分の考えをもつことができない児童もいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎楽曲について友達と考えを交流したり、グループで相談して音楽をつくる機会を設け、対話的な学びを通して自分の考えをもち、歌詞や曲想に合った表現や音楽をつくる過程を工夫しようとする態度を育てていく。</li> <li>・感じたことを自分の言葉にして伝えるなど、言語活動を通して、自分の思いを相手に伝える力を養うようにする。</li> <li>・部分2部合唱やアンサンブルなどを取り入れ、友達と息を合わせて歌ったり演奏したりする喜びを感じながら活動することができるようにしていく。</li> <li>・選択肢を与えたり発問を工夫したりして、児童が「こうしたい」という思いをもてるようにする。</li> </ul>	
図工	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい題材との出会いを楽しんで活動することができるが、授業の内容に対する理解や基礎基本の習得にはばつきがある。</li> <li>・技能面の習得に個人差が見られ、作品作りに苦手意識のある児童もいる。</li> <li>・友だちと創作したり、鑑賞したりすることに楽しんで取り組むことができる児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎対話を通して友人の活動から学んだり、表現の幅を広げたりする機会を増やす。</li> <li>・指示を簡潔にし、ICTを活用し視覚的にわかりやすく説明する。</li> <li>・鑑賞の時間を通し、自他の作品に対し肯定的な気持ちを育てられるようにする。また、意見を交換し合うことで多様な価値観を受け入れられるようにする。</li> </ul>	
家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな単元や活動に対して、意欲的に取り組む児童が多い。</li> <li>・実習への興味関心は高く意欲的に取り組む一方で、実習以外の活動に興味をもてない児童がいる。</li> <li>・調理や裁縫の技能に個人差がみられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎グループによる対話を通した学び合い場面を設定し、生活経験をもとにしてよりよい家庭生活について考えさせる。</li> <li>・実際の家庭生活に生かせるよう、系統性を意識した指導計画を作成することで、日常生活への関心を深め、実践的な態度を育てる。</li> <li>・実習以外の学習の際も、能動的な学習場面を多く取り入れる。</li> <li>・ボランティア等の人材活用を行い、技能を高めるための支援体制を整える。</li> </ul>	
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動が好きで積極的に取り組む児童が多いが、安全面に留意できていない児童もいる。</li> <li>・領域によって技能の定着に個人差がある。</li> <li>・協力して高め合ったり、思考したことを運動に生かす経験をより積ませる必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎学習カードを活用しながら、チームでのかかわりあいの中で学んだことや自分の工夫を実際に取り組ませること、対話を通した振り返りを行わせることで、効果的に技術を向上できるようにする。</li> <li>・健康で安全に生活する大切さを、保健学習や運動の際に繰り返し確認する。</li> <li>・感覚づくりの運動を積極的に取り入れ、運動の基礎的感覚を形成させる。</li> </ul>	
総合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題意識は高いが、解決する手立ての定着が必要である。</li> <li>・問題解決を通して、発展に向けた、課題発見や意欲の向上を図りたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎問題解決後、自己対話したり、それを児童間で伝え合ったりして成長を振り返る活動を大切に、新たな課題につなげさせていく。</li> <li>・問題解決の流れを示し、様々な方法で取り組む経験を積ませる。</li> <li>・問題解決の後に自己の成長を振り返る活動を大切に、新たな課題につなげさせていく。</li> </ul>	
特活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当番活動に意欲的に取り組む児童が多い。しかし、係活動など創造的な活動に対して思うように取り組めていない児童もいる。</li> <li>・学級での話し合いでは、積極的に発言する児童が多いが、議題に正対できていない場面が見られる。</li> <li>・委員会活動や学校行事に熱心に取り組む児童が多いが、高学年として主体的に取り組む意識はまだ高まっていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎よりよい生活を築くために、話し合いや意見交換などの対話を大切に、考えを広げたり深めたりすることで、学級や学校での生活に役立てることができるようにする。</li> <li>・振り返りの機会を定期的に設けたり、他の児童の良さに気付かせる機会を設けたりする。</li> <li>・話題を再確認したり、意見をまとめる方法を示したりする。</li> <li>・委員会や学校行事での活動のめあてを明確にし、最高学年への意識をもたせる。</li> </ul>	
道徳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達に対して親切な行動をとる児童が多いが、相手の気持ちや立場を考えずに言動する場面も見られる。</li> <li>・教材を読み、その日のテーマについて自分の考えを書くことができ、話し合いにも参加するが、自分の生活と結び付けることができる児童は少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎B主として人との関わりに関すること、C主として集団や社会との関わりに関することを重点に指導する。</li> <li>◎対話などに加えて、書く活動を取り入れ、自分の考えをより明確にしたり、自分の道徳的な成長を実感できるようにする。</li> <li>・ロールプレイを通して道徳的実践意欲と態度を育てる。</li> </ul>	

<p>外国語</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語に興味・関心をもつ児童が多い。</li> <li>・ゲームやチャンツを通して英語の発音やリズムを楽しんでいる。</li> <li>・積極的に大きな声で発声できる児童と自信がなく小声になる児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲームやチャンツを多く取り入れ、リズムを楽しみながら活動する。</li> <li>・手拍子やジェスチャーなども取り入れ、楽しみながら活動する。</li> <li>・グループやペアでの対話活動を通して、友達と一緒に安心して外国語を発することができるような雰囲気を作ったり、意図的にグループやペア活動を増やしたりする。</li> </ul>	
------------	---	--	--



# 授業改善推進プラン 【 6年 】

平成30年度 小平市立小平第四小学校

	学習状況の実態及び課題	具体的な改善策(いつまでに、どの程度)	追加・修正
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意欲面では、高学年としては概ね高いが、個人差や領域ごとの差が見られる。</li> <li>・進んで読書をする児童が多い。</li> <li>・相手の意図を捉えて、要点を考えながら聞くことが苦手である。</li> <li>・文章全体の構成を考えて書くことに苦手意識のある児童が多い。</li> <li>・叙述に沿って読み取る力が育ってきているが、目的や意図に応じた内容を取り出したり、関連付けたりして読み取ることが苦手である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎課題を解決するための対話活動を、2人〜4人と段階を踏んで人数を増やしていき、全ての児童にとって取り組みやすいものとする。</li> <li>・目的を意識して聞く場面を増やす。</li> <li>・順序や時系列のわかる言葉を意識したり、事実と自分の意見を区別したりして書かせる指導を行う。卒業文集指導の機会等を活用し、徹底する。</li> <li>・日常の国語学習や各教科の資料活用場面において、目的を意識して必要な情報を記述から見付けさせ、確認を徹底する。</li> </ul>	
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の歴史や人物の働きに関心をもち、意欲的に学習に取り組む児童が多い。</li> <li>・課題に対して、調べたことをもとに自分の考えをもつことが苦手である。</li> <li>・グラフや表を読み取る力は育ってきているが、複数の資料を活用して、必要な資料を探したり、総合的に考えたりすることが苦手である。</li> <li>・基礎的な知識の定着に個人差がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎一単位時間の流れを固定し、調べる活動の前の予想と調べた後の振り返りの時間を設定することで課題解決型の学習の流れを定着させる。また、課題解決の際は、児童同士の話し合いやノート等の記述したものを使った交流、または文献からの情報取捨など対話活動を展開させる。</li> <li>・調べる目的を全体で確認し、適切な資料を選択する経験を積ませる。調べる視点として、空間・時間・相互関係といった社会的な見方・考え方をはたらかせることができるようにさせる。また、調べたことから考えをまとめたり、選択したりする活動を通して、学びを深める。</li> <li>・毎時間の始めに知識の定着を図る時間を設ける。</li> </ul>	
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・算数的活動の楽しさや数理的な処理のよさに気付いている児童が多い。</li> <li>・数量や図形についての基礎的・基本的な知識及び技能を定着させる必要がある。</li> <li>・日常の事象について見通しをもち筋道を立てて考え、表現する能力をさらに伸ばしたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎自分の考えを絵図、式などを使って、工夫をしながらノートに思考過程を整理して書く習慣をつけさせる。また、ペアや全体で考えを交流する時間を確保することで筋道立てて考える力を身に付けさせる。</li> <li>・既習事項を生かして、自分の考えをもつことができるように、習熟の状況に応じて単元の学習内容の理解に必要な基礎的・基本的事項の復習(東京ベシック・ドリル)や前時の復習を授業の初めに行う。</li> <li>・図形に対する理解を深めるために、作業的・体験的な活動を繰り返し行う。</li> </ul>	
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察や実験に興味があり、進んで学習に取り組むことができる。</li> <li>・課題の把握や見通しをもたないまま活動してしまうことがある。</li> <li>・考えを文章に表し、説明することが苦手である。</li> <li>・観察、実験したことが知識として定着しにくい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎児童がもった疑問や気付きを学習課題とすることや、児童達が妥当な実験方法を考え行うことで、目的意識をもって取り組ませる。</li> <li>・ペアやグループ等で課題を解決するための目的を意識して対話を行わせる。多様な考えに触れさせることで、課題に対しての考えを広げ深めせる。</li> <li>・得た知識を使って日常生活の科学的現象を科学的な言葉を用いて表現し、理解を深められるようにしていく。</li> </ul>	
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の取り組み方について一部の児童に個人差があるが、技能・知識ともに学年相応の力が付きつつある。</li> <li>・歌唱の学習ではきれいな歌声で歌おうと意識している児童が多く、二部合唱にも意欲的に取り組んでいる。</li> <li>・器楽の学習では技能に個人差があるが、意欲的に取り組んでいる。</li> <li>・鑑賞では、いろいろな楽器の音色やオーケストラの響き、様々な楽曲の良さに気付き始めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎連合音楽会の取り組みや対話的な学びを通して、音を合わせる楽しさ、音の重なり合う良さ、それぞれの役割を果たす喜びなど、表現する楽しさを感じさせていく。</li> <li>・感じたことを自分の言葉にして伝えるなど、言語活動を通して、自分の思いを相手に伝える力を養うようにする。</li> <li>・歌ったり演奏したりすることが楽しいと思える環境づくりに努める。</li> <li>・引き続き様々な楽曲の良さに触れる鑑賞の学習を通して、価値観を広げていくようにする。</li> <li>・選択肢を与えたり発問を工夫したりして、児童が「こうしたい」という思いをもてるようにする。</li> </ul>	
図工	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな題材や表現に対し、意欲的に取り組んでいる。</li> <li>・次々と柔軟に発想を広げられる児童もいる反面、自分の力ではなかなか発想が広げられず自分の作品を作ることが難しい児童もいる。</li> <li>・価値観が上手下手に偏りがちだが、友だちの作品を肯定的に見られる児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎対話を通して友人の活動から学んだり、表現の幅を広げたりする機会を増やす。</li> <li>・中学校への接続を考え、幅広い材料や用具を体験できるようにするとともに、正しく使えるようにする。</li> <li>・鑑賞の時間を通し、意見交換することで多様な価値観があることに気付かせる。</li> <li>・ICTを活用し、発想が広げられない児童に対して見通しをもって自分の製作ができるようにする。</li> </ul>	
家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の成長を自覚し、家庭生活への関心やその大切さに気付いている児童が多い。</li> <li>・日常生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技能を伸ばし、身近な生活に活用できる能力を伸ばしたい。</li> <li>・実践する喜びを味わい、家庭生活をよりよくしようとする実践的な態度を鍛える必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎日常生活を振り返り、家庭生活と家族の大切さに更に気付かせ、児童同士や家族との対話を通して、学習内容を生活に役立てようという意識を高めさせる。</li> <li>・食品の栄養的な特徴を知り、食品を組み合わせるとる必要性や季節の変化に合わせた生活の大切さなど、快適な住まい方を工夫できるようにさせる。</li> <li>・自分の生活と身近な環境とのかかわりに気付き、物の使い方などを工夫し、実生活に役立てられるようにする。</li> </ul>	
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種の運動の楽しさや喜びを味わうことができる児童が多い。</li> <li>・特性に応じた基本的な技能を身に付け、年間体力を高める必要がある。</li> <li>・自己の最善を尽くして運動をする態度を養いたい。</li> <li>・心の健康、けがの防止、病気の予防について理解、さらに健康で安全な生活を営む資質や能力を育てたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎学習カード、ノートなどを用いて、運動の楽しさや喜びに触れ、その技ができるようにする。また、運動に関する気付きや互いのよかった所や工夫した所を伝え合い、相互の力を高め合うことのできる対話的な学習を展開する。</li> <li>・運動量と伸びの実感を重視し、体を動かす楽しさや心地よさを味わうとともに、日常的に体力を高めることができるようにする。</li> <li>・心の発達及び不安、悩みへの対処について理解できるようにし、お互いの考えを共有化できるようにする。</li> </ul>	
総合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら課題を見付け、よりよく問題を解決する能力をより伸ばす必要がある。</li> <li>・問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協働的に取り組む態度をさらに育て、自己の生き方を考えることができるようにさせたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎地域の人や文献等の対話を通して情報を収集し、児童同士での対話を通して整理・発信していくことで、問題解決力を高めることができるようにする。</li> <li>・自己の生き方を振り返ることができるように、ノートやパンフレットなどまとめ方を工夫し、考えを共有化できるようにする。</li> </ul>	
特活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級を単位として、信頼し支え合って楽しく豊かな学級や学校の生活をつくらうとする児童が多い。</li> <li>・日常の生活や学習に自主的に取り組もうとする態度をさらに向上させ、最高学年としての意識をもたせたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎よりよい生活を築くために、話し合いや意見交換などの対話を大切にし、考えを広げたり深めたりすることで、学級や学校での生活に役立てることができるようにする。</li> <li>・縦割り活動やクラブ、委員会活動で最高学年としての役割を果たせるように、日常的に活動が継続できるようにさせる。</li> </ul>	
道徳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と協力したり、友達を思いやったりする様子がよく見られる。話し合いの場面でも、自分とは異なる考え方を受け入れることができる。</li> <li>・教材を読み、その日のテーマについて自分の考えを書くことができ、話し合いにも参加するが、自分の生活と結びつけることができる児童は少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎C主として集団や社会との関わりに関すること、D生命や自然、崇高なものとの関わりに関することを重点に指導する。</li> <li>◎対話や討論、ロールプレイ、書く活動など様々な学習形態を取り入れることで、互いの考えを知り、自分の考えをより深められるようにする。</li> <li>・ポートフォリオを作成して自己を振り返り、道徳的成長を実感し、自尊心を高める。</li> </ul>	

<p>外国語</p>	<p>・積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度をさらに育みたい。          ・外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませながら、コミュニケーション能力の素地をさらに養う必要がある。</p>	<p>・伝える楽しさを重視し、発話量が増え、児童同士の対話の場面が増える指導の工夫を行う。          ・状況設定をはっきりとさせ、友達とのかかわりを大切にしながら、全ての児童が対話の場面に参加できるようなタスクを与える。また、国際理解にかかわる体験的なコミュニケーション活動を行うようにする。</p>	
------------	--	--	--